

2013年6月13日配付

2013年企画展

武器をアートにーモザンビークにおける平和構築

2013年7月11日(木)～11月5日(火)

国立民族学博物館 企画展示場B(本館2階)

アフリカのモザンビークでは、内戦終結後も大量に民間に残された武器を農具などと交換して武装解除を進め、その回収した武器でアートの作品を作りだすという事業が進んでいます。その事業を通じて制作された作品が、先ごろ本館に収められました。アートを通じて平和を築く営みを紹介します。

-
- 展示名 企画展「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」
 - 会期 2013年7月11日(木)～11月5日(火)
 - 場所 国立民族学博物館 企画展示場B(本館2階)
 - 時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
 - 無料入館日 9月14日(土)、9月16日(月・祝)、11月3日(日・祝)
 - 休館日 水曜日
 - 観覧料 一般:420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生110円(90円)
()は20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用
 - 主催 国立民族学博物館
 - 協力 特定非営利活動法人 えひめグローバルネットワーク
 - 問い合わせ 国立民族学博物館 06-6876-2151(代)

 - 実行委員長 吉田憲司
 - 標本資料
 - ・展示標本資料 本館所蔵資料 6点
 - ・借用予定資料 15点
 - ・展示用映像音響資料 本館所蔵資料 3点
 - ・写真パネル 20点

モザンビークでは、1975年の独立後1992年まで続いた内戦の結果、戦争終結後も大量の銃器が民間に残されました。現在、この銃器を農具と交換することで回収し、武装解除を進めるとともに、改修された銃器を用いてアートの作品を生み出し、社会の安定化に貢献しようという、TAE「武器を農具に」というプロジェクトが進められ、内戦後の平和構築のモデルとして注目を集めています。本企画展では、本館が2012年に収集した作品と、TAEのプロジェクトを支援してきた日本国内のNGO「えひめグローバルネットワーク」が所蔵する作品を一堂に展示し、モザンビークの人びとが進めるアートを通じた平和構築の営みと、その活動の日本とのつながりを紹介します。

【関連催し物】

国際ワークショップ

作品を制作したアーティストとTAEプロジェクトのコーディネーターを招聘し、作品の最終的な組み立てと、国際ワークショップを開催いたします。

■7月13日(土)

■13時30分～16時30分

※申込み方法の詳細は決まり次第ホームページに掲載いたします。

ウィークエンド・サロンー研究者と話そう

本館の研究者が展示場に登場し、「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなの展示資料」についてお話しします。

■7月28日(日)

■14時30分～15時30分

■吉田憲司(文化資源研究センター・教授)

みんなくゼミナール

タイトル 「心の武装解除ーモザンビーク「武器をアートに」プロジェクトを考える」

■10月19日(土)

■13時30分～15時00分

■吉田憲司(文化資源研究センター・教授)

■参加無料

■定員450名



実行委員長 吉田憲司(国立民族学博物館・教授)

アフリカを中心に、仮面や儀礼、キリスト教独立教会の動向についてのフィールド・ワークを続ける一方、ミュージアム(博物館・美術館)における文化の表象のあり方を研究し、その作業から得られた知見を反映した展示活動を国内外で展開しています。

◆お問い合わせ◆

国立民族学博物館 広報企画室広報係

電話:06-6878-8560(直通) FAX:06-6875-0401

Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp

2013年企画展「武器をアートに一モザンビークにおける平和構築」
広報用画像リスト



1. 〈いのちの輪だち〉フィエル・ドス・サントス、
ケスター作 2012年



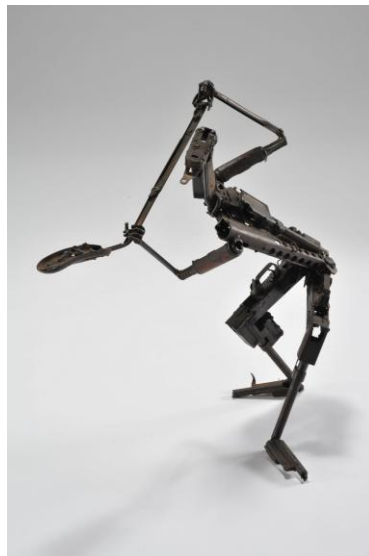
2. 〈ギター奏者〉ケスター作 2012年



3. 〈椅子〉ケスター作 2012年



4. 〈フルート奏者〉フィエル・ドス・サントス作
2012年



5. 〈パンを焼く人〉フィエル・ドス・サントス作
2002年



6. 〈いのちの輪だち〉制作風景



7. 〈いのちの輪だち〉制作風景



8. 回収された武器

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、広報企画室広報係まで裏面申込用紙の内容をお知らせください。

2013年企画展「武器をアートにーモザンビークにおける平和構築」

広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 koho@idc.minpaku.ac.jp

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【広報に関するお願い】

- 掲載記事、番組内容について館の基本情報の確認のため、原稿等の校正を、FAXまたはメールにて、下記連絡先までお送りいただきますようお願いいたします。
- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・①～⑤は全てキャプションとえひめグローバルネットワークと記載してください。
 - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画テープを3部お送りください。

【広報に関するお問い合わせ】

国立民族学博物館 広報企画室 広報係
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
TEL : 06-6876-2151 (代表) 06-6878-8560 (直通)
FAX : 06-6875-0401 MAIL : koho@idc.minpaku.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology